

※施工の技術上の管理 の場合の記入例

実務経歴書

<p>私は、 二級 木造 建築士の免許を受けたいので、建築実務の経歴を下記のとおり記載し、併せて第三者がこの実務経歴書の内容が事実と相違しないことを証する実務経歴証明書を提出します。</p> <p>私は、下記事項が事実で、かつ、正確であることを誓います。</p> <p>令和●●年●●月●●日 氏名 <u>大建 一郎</u> (署名)</p> <p>大分県知事 指定登録機関 殿</p>					
勤務先等					
勤務先 (部課名まで)		所在地 (番地まで)		在職期間の合計	
				年月～年月	年月数
●●建設(株) ●●部●●課		●●県●●市●●町●●丁目 ●●番地		H28年 4月～ R2年 12月	4年 9月
在職期間		地位職名	建築実務の内容 (建築士法施行規則第一条の二)		
年月～年月	年月数				
H28年4月～ R2年12月	4年9月	—	工事の施工の技術上の管理に関する実務		
建築実務の詳細				建築実務経験期間の合計	
				4年 9月	
	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
( 1 )	●●邸 増改築工事	●●県●●市●●町●●丁目 ●●番地	R2年6月～ R2年12月	100%	0年 7月
	実務経験の対象となる業務の内容 (できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等) コード [ 5 C - 0 1 ]  専用住宅 (木造2階建て、延べ面積150㎡) の新築工事において、建築一式工事の施工管理を担当した。				
( 2 )	●●邸 増改築工事	●●県●●市●●町●●丁目 ●●番地	R2年2月～ R2年5月	100%	0年 4月
	実務経験の対象となる業務の内容 (できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等) コード [ 5 C - 0 1 ・ 4 B - 0 1 ]  併用住宅 (木造2階建て、延べ面積150㎡) の増改築工事において、建築一式工事の施工管理を担当した。				

	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
( 3 )	●●邸 新築工事	●●県●●市●●町●●丁目 ●●番地	H30年4月～ R2年1月	100%	1年10月
	実務経験の対象となる業務の内容（できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等） コード [ 4 B - 0 1 ]  併用住宅（木造2階建て、延べ面積150㎡）の新築工事において、大工工事の施工管理を担当した。（他 4件）				
	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
( 4 )	●●邸 増改築工事	●●県●●市●●町●●丁目 ●●番地	H28年4月～ H30年3月	100%	2年0月
	実務経験の対象となる業務の内容（できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等） コード [ 4 B - 0 1 ]  専用住宅（木造2階建て、延べ面積150㎡）の増改築工事において、大工工事の施工管理を担当した。（他 4件）				
	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
( 5 )			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容（できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等） コード [ - ]				
※登録機関記載欄					

- [記入上の注意]
- 1 数字は、算用数字を用い、※欄は記入しないでください。
  - 2 この実務経歴書は勤務先（自営業を含む。）ごとに作成し、今までの建築に関する実務の経歴について登録に必要な業務内容を年代順に記入してください。
  - 3 記載内容の記入不備や疑義が生じた場合、再提出や追加書類の提出を求められることになり、登録が遅れる場合があります。
  - 4 虚偽の実務経歴を記載した場合、建築士法上の措置や登録が認められない場合もあります。